



特集

亀山で働く。

■株式会社日商 (布気町)

■協同油脂株式会社 (田村町)

■リケンテクノス株式会社 (菅内町)

■株式会社エイチワン (下庄町)

亀山市は、電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額で全国第6位、非鉄金属製造業で全国第12位を誇る、ものづくりのまちです。製造品出荷額全体でも三重県内で第5位を占め、県内有数の産業都市として発展を続けています。(2024年経済構造実態調査による)

この産業基盤は、地場産業に始まり、時代の変化とともに多様な産業が集積して築かれてきました。地域に根ざし、技術を高め、雇用を支えてきた多くの企業がその根幹を担っています。市内には、新しい時代に向けて挑戦を続ける企業が多く立地し、私たちの暮らしを支えています。

問合せ先 商工観光課商工業振興グループ ☎84-5049

亀山の産業の歩み

1 地場産業のはじまり

亀山の産業はろうそくや製糸などの地場産業から始まり、まちの礎となりました。



ろうそくの製造(昭和29年) 【亀山市歴史博物館所蔵】

2 内陸産業都市を目指す

昭和30(1955)年代以降、道路網の整備とともに多くの企業が進出。平成元(1989)年には「名阪亀山・関工業団地」が完成し、自動車関連産業を中心に産業都市としての基盤を確立しました。

3 「液晶のまち」として全国区に

平成14(2002)年、民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」へのシャープ亀山工場の進出を契機に液晶関連産業が発展し、「液晶のまち亀山」として全国に名を知られるようになりました。

4 多様な産業構造への進化

地場産業に始まった亀山の産業は、自動車関連や電子部品、食品、産業ガスなどへと裾野を広げ、多様な産業が集積する都市へと発展してきました。伝統を受け継ぎつつ、新たな技術や産業が育ち、雇用と暮らしを支える基盤となっています。

市内の雇用環境と企業活動を支える

若い人たちに市内企業で働いてもらいたい

亀山市は、人口が約5万人なので小回りが利く規模だと思います。市内企業の雇用状況を見ると、県内の高校生の減少で若い人材の確保が難しくなっています。こうした中、当協議会では、採用計画の情報交換を目的とした県立・私立高等学校の教諭等との求人懇談会の開催や、亀山高校が授業の一環として2年生を対象に実施する進路ガイダンスへの参加を通じ、採用担当者が企業の魅力や業務内容を直接PRする場を設けています。安定性や福利厚生など魅力ある企業の存在も大切ですが、市内で働く魅力を企業同士が連携しながら発信し、人材確保に取り組む必要があると考えています。



亀山市雇用対策協議会

会長 和田 孝行さん

Profile

株式会社エフテック亀山事業所(白木町)所長付。ジェンダーギャップ解消・女性活躍と誰もが働きやすい職場づくりを目指す「輝くみえのミライ☆三重県会議」の企画委員も務める(県内630の企業・団体が加入)。

亀山市雇用対策協議会 会員企業の労働力の確保と雇用の安定に努め、企業間相互の協調と親睦を図りながら地域産業の振興を目指した活動を展開(市内50の企業が加入)。



会員事業所一覧はこちら

誰もが安心して働ける亀山市を目指して

第二次産業は“男性の職場”というイメージがありますが、実は現場では女性を積極的に採用しています。近年、小さい子どもがいても働き続けられる環境は欠かせず、大手の企業は保育などができる場を自前で用意できる場所もあります。一方、中堅・中小企業では難しいのが現状ですが、例えば、工業団地の一定の企業を単位として、官民連携でそういった場の設置・活用ができれば、女性の定着率の向上につながると考えます。また、超少子高齢社会に突入している中、元気な高齢者も多く、誰もが生涯にわたり働き続けられる場を提供することも人材確保の面では欠かせません。

今後、亀山市で働きたいと考えてくれた人が、市内へ定住していただけるような情報発信が必要だと考えますし、各企業の社員同士が交流できる場を企画できればと思います。

市内の工場または事業所(これから操業しようとするものを含む)の入会申込み、問い合わせは、協議会事務局(商工観光課商工業振興グループ ☎84-5049)へご連絡ください。



求人懇談会



亀山商工会議所

専務理事 川原林 義弘さん

Profile

亀山商工会議所 商工業の振興、地域の創生、地域経済の活性化などを目的に活動している総合経済団体。地域の商工業者の世論に応え、国や関係行政機関に提言や要望を行っている。地域の中小企業をバックアップすることも大きな役割の一つで、経営全般、税務、労務などさまざまな相談に応じている。令和7年3月時点の会員は919社(個人・法人・団体)。



デジタルツール活用セミナー

地方創生・地域経済の発展を目指して

亀山商工会議所は、地域の皆さんの思いを受けて、市や県などの関係機関と連携し、地方創生、地域経済の発展のためさまざまな要望・提言活動を行っています。

「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」の一員として、国土交通省へリニア中央新幹線の早期全線開業について「要望書」を提出し、リニア三重県駅の「駅位置の早期決定」についても要望してきました。また、県へリニアや道路網整備の促進、観光振興の支援、工業団地開発の支援等を要望しています。

「中小企業相談所」が地域の企業をバックアップ

商工会議所内の「中小企業相談所」に、経営指導員・経営支援員を配置し、小規模事業者の経営・金融・税務・経理・労務等に関することや経営戦略の立案、新技術、商品、サービスの導入、販路拡大、経営革新等について、事業者の目線に合わせ、寄り添いながら伴走型支援を行っています。

また、市内で独立開業等を目指している人を対象に、毎年「創業塾」を開催し、独立開業に向けた支援を行っています。そのほか、デジタルツール活用セミナーなど各種セミナー等も随時開催しています。事業に関する相談ごとやお困りごと等ございましたら、お気軽に商工会議所にお越しください。



亀山商工会議所
ホームページ

働きがいのある職場で、私たちと一緒に働いてみませんか？

古河電気工業株式会社 三重事業所 (能褒野町20-16)

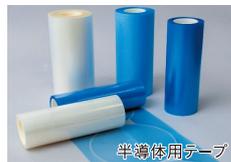
世の中を支える製品群で、社会貢献に取り組む

三重事業所では、銅線、半導体用テープ、光ファイバーケーブル、自動車部品など、普段の暮らしの中では目にするものはないものの、縁の下から世の中を支えている数多くの製品を製造しています。

事業所においては、日頃から、市内や近隣の高校生を現場スタッフとして採用し、作業の自動化を進めながら、新卒から高齢者まで、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。特に半導体用テープの製造現場では女性スタッフも多く、休憩所など性別を問わず快適に働ける環境を整えています。

また、従業員のご家族に職場を見ても

らう「家族工場見学会」を実施しており、お子さんに職場を体感してもらうことで、古河電工ファンをつくり、将来の就職につながることを期待しています。実際、親子で働く社員も多くいます。毎年8月には「古河電工ファミリー納涼祭」を開催し、従業員による出店や地元の方によるショー、そして大花火大会を通じて地域との交流を深めています。今後も将来にわたって地域の方々と共に成長していきたいと思っております。



半導体用テープ



古河電気工業株式会社
三重事業所

所長

石田 禎則さん



古河電気工業株式会社
ホームページ



有限会社メガテック (住山町644-16)

ふるさと納税を通して、亀山市を知ってほしい

アルミやチタンなどの金属精密加工やオートバイのマフラーの製造を原点として、釣り具用リールハンドルの製造も行っています。

ハンドルの製造を始めたのは、社長と社長の息子の釣り好きが高じて、「この技術やノウハウを生かせられないか」と考えたことがきっかけでした。

当社は、設計から製造まで一貫生産しており、お客さんにオーダーメイドの品も提供できることが強みです。ハンドルは、お客さんからの勧めで、令和4年から亀山市のふるさと納税の返礼品として提供しており、昨年、市のふるさと納税額1位

になりました。ふるさと納税を通して、亀山市を知り、覚えてもらえるきっかけになればとてもうれしいです。

また、当社では、地元の人が多く働いています。ものづくりが好きなお客さんが集まっていて、思いついたらすぐに試作し、形にできる環境も整っています。私たちと一緒に新しいことに挑戦してくれる仲間が増えるといいなと思っています。



有限会社メガテック 技術部
部長(工場長)

藤田 隆一さん



有限会社メガテック
ホームページ



Column

SATAS*のパイロットラインの動作検証がシャープ亀山工場で行われます

SATASとは、「半導体後工程自動化・標準化技術研究組合」の略称で、半導体メーカー・半導体製造装置や自動搬送装置メーカー・標準化団体等から構成されています。半導体製造のパッケージング・アセンブリーやテスト工程など後工程のトランスフォーメーションおよび完全自動化を目的とし、令和6年4月16日に設立されました。後工程の自動化に必要な技術およびオープンな業界標準仕様の作成、装置の開発と実装、統合されたパイロットラインでの装置の動作検証を行い、令和10年の実用化を目指しています。このパイロットラインサイトとしてシャープ亀山工場が選定され、現在、令和9年度中の稼働開始を目指し、工場内の建屋の環境整備が行われています。



シャープ亀山工場

*SATAS…Semiconductor Assembly Test Automation and Standardization Research Associationの略称。

三重を代表する企業として、亀山市を盛り上げる

昭和42(1967)年から亀山で自動車部品メーカーとして生産活動を開始し、令和6年に本社を亀山へ移転しました。今年9月には、当社の一貫生産体制や独自のアルミダイカスト技術、地域社会活動への積極参加が認められ、「三重を代表する企業100選」の認証を受けました。EV化が進む自動車業界において、既存の取り引きだけに留まらず、電機メーカーとの取り引きも増加しています。

当社は、有給取得率が高いことや平均残業時間も少ないほか、育児・介護と仕事の両立など、近年働きやすい環境づくりに力を入れています。また、体の負担

軽減を図るための協働ロボの導入などを進めています。バス旅行やボーリング大会など社員交流も多く、家族参加型のイベントもあり好評です。

社員のおよそ8割が亀山市・鈴鹿市に在住。これからも地域の雇用創出に力を入れ、地元の方と一緒に亀山市を盛り上げていきたいです。社長の思い「よく働き、よく遊ぶ」。そんな人生を私たちと一緒に送ってみませんか。



柳河精機株式会社 亀山本社
採用責任者

高野 敬啓さん



柳河精機株式会社
ホームページ



国内トップシェアのジッパーで、亀山市をPRしたい

「出光」というネームバリューに興味をひかれ就職を決めました。入社当時は指示された業務を行っていましたが、上司と一緒にキャリアプランの立案や相談ができる仕組みがあり、現在、現場のリーダー役として自担当工程のほか、若手社員の作業を確認する立場で働いています。職場は、空調設備が整っていて作業しやすく、作業員の意見を積極的に取り上げてもらえます。また、AIなどの先端技術により作業が自動化され、削減できた時間を製品の検査などに費やせるようになりました。

交代勤務をしていますが、休暇を取得しやすく、会社全体にリフレッシュできる環境

が整備された職場だと思います。また、納涼祭などもあり、社内の雰囲気も良い会社です。将来、自分の目標である現製造課長のような存在を目指し、頑張ります。

実は、コンビニ等で販売されているグミやキャンディなどのパッケージにも使われているジッパーは亀山市で製造していて、販売シェアは国内1位なんです。お店で商品を見つけると、自社製品という愛着からつい手に取ってしまうのが習慣です。



出光ユニテック株式会社
三重工場

製造課製造係

古谷 尚暉さん



出光ユニテック株式会社
ホームページ



地域経済の活性化と雇用の場の確保に努めています

市では、優れた技術力や開発力を武器に国内外で活躍されている企業の魅力発信を図書館やイベント等で行うとともに、ハローワークや亀山商工会議所等と連携し、若者から高齢者、子育て世代など多様な人材への就労支援や働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

少子高齢化が進む中で、「働き手不足」が社会的な問題になっていますが、今後も独自の技術で輝く市内企業の魅力発信を積極的に行い、学生や若年者が魅力ある企業を知ることで、地元での就職につながるきっかけづくりを行っていきます。就労・労働に関することは、商工観光課商工業振興グループ(☎84-5049)へお気軽にご相談ください。



商工観光課
課長 原 千里

